

# スマートシティたかまつ推進協議会 令和4年度事業計画



令和4年2月28日

スマートシティたかまつ推進協議会はデジタル社会の基本理念に則り、2022年度より「v2」としてトランスフォーメーションをしていく。

## 協議会運営にあたっての課題

- ・ 協議会会員からの自発的なWGが、協議会立ち上げ当初と比べて減ってきている。
- ・ 協議会の情報が、活動を望む情報を届けるべき人に届いていない。

2022年度

これまで ←

→ これから

協議会設立時から行政が主導的になり、会の運営や企画などを実施してきた。

会員各位が自発的に活動できる、産学民官連携が可能になる「場」と「大義」を協議会は提供する。

協議会設立・PF構築

年に1回の総会、年に4回の運営委員会（会議体）を開催し、協議会を運営

各分野のWG活動（運営委員会にて承認を受けたWGが計画に則って実行）

事務局（高松市）からの片方向コミュニケーション

デジタルを活用し、オープンに全員参加型の議論を行い、柔軟な運営を行っていく

協議会員のやりたいことを実現させる環境づくり

双方向コミュニケーション

# 来年度の実施方針

スマートシティたかまつ推進協議会が抱える課題を踏まえ、  
中期計画実現に向けた施策を実施する。

協議会における中期計画(～2024年)

来年度の実施方針

デジタルを活用し、  
オープンに全員参加型の議論を行い、  
柔軟な運営を行っていく

協議会の柔軟な運営や目的設計などを  
議論するための場を設置

協議会員のやりたいこと  
を実現させる環境づくり

協議会員のやりたいこと  
を抽出・施策検討

双方向コミュニケーション

協議会全体でコミュニケーション可能な  
デジタル環境を検討

## 今後スケジュール 及び その他報告事項

---

# 令和4年度スケジュール

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総会											▼ 総会	
運営委員会		▼ 第19回			▼ 第20回			▼ 第21回			▼ 第22回	
勉強会等			▼ 勉強会		▼ 勉強会		▼ 勉強会				▼ FIWAREハンズオン (全3回)	
人材育成						▼ 人材育成講座 第1弾		▼ 人材育成講座 第2弾			▼ 人材育成講座 第3弾	
			←—————→ KIDSプログラミングコンテスト									
シンポジウム			▼ シンポジウム ※新型コロナ感染症の状況を見ながら開催時期を検討									

## 9. スマートシティの推進関連予算

7.3億円

### 基本方針

市民全員がデジタル技術を活用でき、誰もがデジタル社会の恩恵を受けられる環境を整備し、誰もがスマートシティからデジタル技術を進められることでの実現

#### 持続可能で魅力的なまちづくり

- ・健康でいきいきとした生活の実現
- ・教育・子育て環境の充実
- ・交通・物流の高度化
- ・まちの活性化・魅力向上
- ・安全で快適な生活環境の整備

- ・各園タブレット導入・運用や放課後児童クラブICT化推進 17,989千円
- ・新たな交通モード実証事業 32,771千円
- ・企業立地・サテライト促進 65,395千円 など

#### 市民ニーズに応じた行政サービスの効率的な提供

- ・行政手続・業務のデジタル化
- ・政策立案におけるデータ活用
- ・デジタル人材の育成・確保
- ・ICTインフラの整備

- ・電子申請フォーム運用 14,771千円
- ・行政効率化ツール運用 38,745千円
- ・デジタル広報プラットフォーム構築 1,914千円
- ・DX取組推進のための職員研修 2,976千円 など

#### 多様な主体の出会いと協働を促進する仕組みづくり

- ・産学民官の連携促進
- ・意思決定プロセスのオープン化
- ・地域間連携による取組の高度化、広域化

- ・IoT共通PF・協議会運営 24,822千円
- ・共同研究・オープンデータ活用 4,173千円
- ・かがわDX Labの参画 2,768千円 など

#### 誰もがデジタル社会の恩恵を受けられる環境整備

- ・地域のデジタルデバイド対策
- ・地域コミュニティのICT化支援

- ・地域情報化・デジタルデバイド対策 21,584千円
- ・中小企業のデジタル化支援 9,106千円
- ・地域コミュニティ活動のDX 14,666千円 など

### DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ・マイナンバーカード普及促進 77,569千円
- ・ガバメントクラウドや社会基盤（ベース・レジストリ）整備 60,671千円 など

各先端的サービスについて、高松DAPPYを中心に、事業化に向けた課題の整理やロードマップを策定中。

## 可能なものから順次、事業を推進

市民、行政、タクシー事業者、それぞれの悩み...

バス停まで通ってバスに乗れない。家まで迎えに来てくれる乗り物が欲しい

バスを走らせるにはお金がたくさんかかるけど利用者は少ない...少ない利用者に合わせた乗り物が欲しい

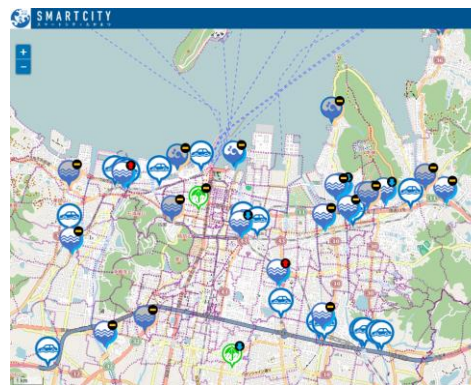
タクシー車両が空いている時間にも、お客さんに乗って欲しい

みんなの悩みを解決する、持続性の高い新しい交通モードを生み出すことを目指し、課題解決の手法を検証するため、**「バタクス」創出に向けた実証事業における運行を開始します！**

※バタクスとは「バスとタクシーの間を埋める交通モードを作る」という思いから、名付けたものです

運行形態	> エリア限定・時間限定のタクシー（利用日の前日までの予約制）
実証期間	> 令和4年1月17日から
運行事業者	> グリーンタクシー、香南タクシー、こどもんタクシー
実施主体	> 高松市

予約などの詳細は裏面をご覧ください▼



ダム情報



ハザードマップ

データ連携、取り込み

新しい交通モード「バタクス」の創出に向けた実証事業を開始

「逃げ遅れゼロ」を目指し、防災関連データをFIWAREに順次、連携、取り込み

## 取組の方向性

地域コミュニティ協議会が地域の実情に応じて  
ICTを活用した取組や、その前提となるデジタルデバйд解消に向けた取組を  
実施できる体制【**情報団(仮称)**】を構築できるようにする



令和3年度取組  
(WG実証事業)

スマホ教室

相談会

地域活動デ  
ジタル化

地域コミュニティ協議会 (4団体)

支援

- ・体制づくりに向けた協力
- ・研修実施 (国事業も活用)
- ・教材等提供 (国事業も活用)
- ・備品等購入費支給
- ・専門家の派遣 など

スマートシティたかまつ推進協議会WG

成果

- ・地域活動のデジタル化ガイドブック作成
- ・他の地域に展開するための活動モデルづくり
- ・活動支援が可能な市内の企業・団体・個人の  
情報収集と集約

令和4年度以降

**令和3年度の実証成果を踏まえ  
実施地域を広げながら、取組を横展開**

地域コミュニティのデジタル化やデジタルデバйд対策に御協力いただける協議会会員を募集中。



市民参加型のスマートシティを目指すため、デジタルを活用した市民参画ツール（decidim）の構築に向けて検討。

令和3年度に香川大学と日本電気株式会社が共同研究を進めており、現在、人材育成プログラム「まちのデータ研究室」で実証運用中。



<https://city-ux-lab.org>

## decidim (デシディム) とは

オンライン上で多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくための機能を有している参加型合意形成プラットフォーム。

バルセロナやヘルシンキなど世界30を超える都市で使われている。



## KIDSプログラミングコンテストの開催

人材の発掘・育成の取組の一環として、本市在住の小学生を対象としたプログラミングコンテストを開催（次回で3回目）。



## 人材育成講座の開催

香川大学との共同研究事業として、地域課題を発掘し、その課題解決に有用なデータの検討、ビジネス実証、そして将来のスマートシティ事業を担う人材の養成につながるような一連の講座を開催。

【講座1】  
かがわeかみしばいコンテスト2022



【講座2】  
Web×IoTメイカーズチャレンジ



【講座3】  
まちのデータ研究室



地域課題の発掘、  
明確化

課題解決に有用なデータの  
検討  
ソリューションのアイデ  
ア出し・ビジネス実証

アイデア・サービスの  
評価・改善  
(データ連携基盤の充  
実)